

中原第4号墳出土品 静岡県指定有形文化財に

古代の富士を

現代に伝える品々

富士市伝法(でんぼう)にかつて存在した古墳「中原第4号墳」の出土品が、「中原第4号墳出土遺物一括」として、令和3年12月24日、静岡県指定有形文化財に指定された。12月17日に静岡県知事から県文化財保護審議会へ諮問され、同日の答申を受けて、24日、県知事により告示された。

指定されたのは、中原第4号墳から出土した玉、武具、馬具、生産用具、農具、土器など。



静岡県指定有形文化財に指定された中原第4号墳の出土品



中原第4号墳と周辺遺跡の位置

埋蔵文化財ニュース

2021年(令和3年)12月27日
富士市 市民部 文化振興課
富士市埋蔵文化財調査室

中原第4号墳は、広見公園の南西、伝法沢川の東岸で平成4年に発見され、発掘調査が行われた古墳である。調査により完全に掘り上げられ、現在は消滅している。

中原第4号墳は、厩戸皇子(聖徳太子)が誕生したとされる6世紀後半につくられた古墳と考えられている。

発見された時、墳丘はすでに削られていたが、墳丘の周囲に掘られた円形の溝と横穴式石室が残っていた。周溝の大きさから、墳丘の直径は約11メートルと推定される。

埋葬施設である石室は破壊や盗掘の被害を受けず、つくられた時の姿を残していた。石室の広さは、奥行き約4メートル、幅約1メートルを測る。3人が3回に分けて埋葬されたものと考えられている。

石室からは、装飾品である玉類、大刀や鉄鍔などの武器や多くの土器、轡や鍔などの馬具、鍛冶具の鉄鉗や針などの生産用具など、種類も量も豊富な副葬品が出土した。

埋葬された人物は、渡来人を含む土木開発や手工業の技術者集団を率いて古代富士地域を開発し、武人的な性格も有して、王権とも結びついた有力者と想定される。

富士山かぐや姫ミュージアム(富士市立博物館)では、令和4年1月6日から、中原第4号墳出土品に係わる常設展示スペースを拡充し、通常は展示していない資料を期間限定で展示する。

多くの人に富士の歴史に親しんでいただける良い機会となるだろう。



活用	研究	活用	報告	研究	報告	調査
3年12月	令和元年10月	30年1月	29年2月	25年10月	20年1月	平成4年4月
「中原第4号墳出土遺物一括」 静岡県指定有形文化財に指定	季刊考古学・別冊30 『賤機山古墳と東国首長』 中原第4号墳を含む 伝法古墳群について研究発表	市指定文化財記念シンポジウム 『中原第4号墳の被葬者に迫る』	中原第4号墳出土品 富士市指定有形文化財に指定	県内外の研究者による 資料の調査・検討と研究会 各研究者が報告書に 考察論文を執筆	静岡県考古学協会 『東国に伝う横穴式石室』 本報告書刊行のため 整理作業開始	発掘調査 発掘調査概要報告書 刊行
文化庁主催 『発掘された日本列島2020』展 伝法古墳群出土品が全国5箇所を巡回	30年10月 『境界の考古学』	30年3月 富士山かぐや姫ミュージアム第55回企画展 『産業の種時く人』 一伝法中原4号墳と古代のエンジニアたち一 出土遺物や石室の原寸復元など展示	28年3月 本報告書刊行	27年10月 各研究者が報告書に 考察論文を執筆	6年3月 『発掘調査概要報告書』刊行	5〜7月 発掘調査

中原第4号墳の発見から 県指定有形文化財へ

